

JIS

Vリブドベルト伝動— 一般用プーリ及びベルト

JIS B 1858 : 2005

(RBMA/JSA)

平成 17 年 7 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 機械要素技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	大 園 成 夫	東京電機大学
(委員)	永 壽 伴 章	独立行政法人産業技術総合研究所
	岡 野 正 敏	社団法人日本バルブ工業会
	高 辻 利 之	独立行政法人産業技術総合研究所
	桑 田 浩 志	有限会社桑田設計標準化研究所
	小 林 正 彦	社団法人日本工作機械工業会
	土 屋 孝 夫	社団法人自動車技術会
	飛弾野 文 英	日本工具工業会
	下 条 光 則	社団法人日本ベアリング工業会
	前 田 次 啓	社団法人日本ばね工業会
	丸 山 一 男	工学院大学
	望 月 正 紀	社団法人日本ねじ工業協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 17.7.20

官 報 公 示：平成 17.7.20

原 案 作 成 者：ゴムベルト工業会

(〒105-0003 東京都港区西新橋 2-12-4 ニューウエストビル TEL 03-3503-4731)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：機械要素技術専門委員会 (委員長 大園 成夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、ゴムベルト工業会(RBMA)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、ISO 9982:1998, Belt drives—Pulleys and V-ribbed belts for industrial applications—PH, PJ, PK, PL and PM profiles : Dimensions を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任をもたない。

JIS B 1858 には、次に示す附属書がある。

附属書 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表

目 次

	ページ
序文.....	1
1. 適用範囲.....	1
2. 引用規格.....	1
3. 定義.....	1
4. プーリ.....	2
4.1 種類.....	2
4.2 溝部の寸法及び許容差.....	2
4.3 最小有効直径.....	4
4.4 プーリの許容値又は許容差.....	4
4.5 ピッチ円直径.....	5
4.6 プーリ呼称.....	6
5. ベルト.....	6
5.1 種類.....	6
5.2 形状及び寸法.....	6
5.3 長さ.....	7
5.4 ベルト呼称.....	9
附属書（参考）JIS と対応する国際規格との対比表.....	10
解 説.....	13

Vリブドベルト伝動— 一般用プーリ及びベルト

Belt drives—Pulleys and V-ribbed belts for industrial applications

序文 この規格は、1998年に第2版として発行された **ISO 9982:1998, Belt drives—Pulleys and V-ribbed belts for industrial applications—PH, PJ, PK, PL and PM profiles: Dimensions** を元に、対応する部分については、対応国際規格を翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応国際規格には規定されていない規定内容を追加している。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、原国際規格の内容を変更して規定した事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、**附属書 (参考)** に示す。

1. 適用範囲 この規格は、一般に用いられる動力伝達用のVリブドプーリ (以下、プーリという。) 溝部の形状及びこれと対応する継ぎ目のない輪形のVリブドベルト (以下、ベルトという。) の主要な寸法について規定する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、**ISO/IEC Guide 21** に基づき、IDT (一致している)、MOD (修正している)、NEQ (同等でない) とする。

ISO 9982:1998, Belt drives—Pulleys and V-ribbed belts for industrial applications—PH, PJ, PK, PL and PM profiles: Dimensions (MOD)

参考 PK ベルトは、元は自動車の補機駆動用に制定された。特に、その用途のために **ISO 9981** が規格化されている。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、発効年又は発行年を付記してあるものは、記載の年の版だけがこの規格を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。

JIS B 0601 : 2001 製品の幾何特性仕様 (GPS)—表面性状：輪郭曲線方式—用語、定義及び表面性状パラメータ

備考 **ISO 4287:1997, Geometrical Product Specifications (GPS)—Surface texture:Profile method—Terms, definitions and surface texture parameters** からの引用事項は、この規格の該当項目と同等である。

ISO 254 : 1998, Belt drives—Pulleys—Quality, finish and balance

ISO 1081 : 1995, Belt drives—V-belts and V-ribbed belts, and corresponding grooved pulleys—Vocabulary

3. 定義 この規格で用いる主な用語の定義は、**ISO 1081** によるほか、次による。

a) **オーバーボール径** プーリに測定用ボール又はロッドを取り付けたときのボール又はロッドの外側の